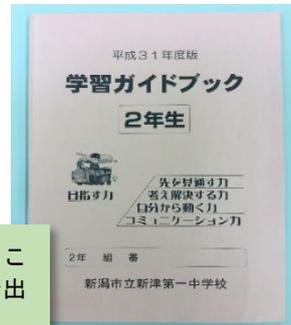


## 仲間は自分を見つめる鏡 ～新津第一中学校の取組～

10月8日(火)。この日、新津第一中学校は、全校で「家庭学習力向上作戦会議」(6限学活)を行いました。ある3年生の学級では、以下のような学びが展開されました。



**「家庭学習力向上作戦会議」** 4人グループで「家庭学習をするうえで困っていること」を話し合いました。以下は話し合いの概要で、ほんの一部です。その後、各グループで出た家庭学習のコツを全体で共有しました。

Aさん：できない問題があると、とばしたくないからどうしてもそこでずっと考え込んでしまう。それで家庭学習が進まない。どうしたらいいかな？ (一同「分かる!」と共感)

仲間①：僕は、一旦置いておいて、最後にまた戻るようにしている。

仲間②：私は30分やってみる。それでダメだったら諦めて次に進むようにしている。

仲間③：うん、うん。(②に共感)

Aさん：なるほど、ありがとう。いろいろなやり方があるね。自分は・・・

Dさん：勉強しているとどうしても眠くなっちゃう。

仲間①：朝やるのもいい。

仲間②：朝起きるのが難しい人もいる。声に出して頭を活性化するのもいい。立ち上がるとか。

仲間③：つぶやきながらとか。

Bさん：ありがとう。(自分のWSに仲間のアドバイスを書き込んでいる)



Bさん：生活習慣が悪くて家庭学習が進まない。

仲間①：一気に全部の生活習慣を変えなくてもいいんじゃない？ テレビを見る時間を少し減らすとかから始めればいいんじゃないかな。

仲間②：自分は食事をきちんとすることで生活習慣が変わったよ。

Bさん：そうだね。食事の習慣を整えるというもあるね。(話は続いている)



Cさん：長い文章題を最後まで解くのが苦手で困っている。(他の仲間も「そう! すごく困っている」という共感)

仲間①：途中で気づきとかを書きこみながら考えるといいよ。あと、数学の文章題は、図にしながら考えるのがいいと思う。(一同、「なるほどね」というつぶやきと頷き)

仲間②：そういえば自分も図にしながら解いている。それがよかったのか。(話は続いている)

この学びは、支持的風土が無ければ成立しないと考えます。競争ではなく、みんなで伸びていこう、向上していこうという風土が無ければ、安心して困り感を他者に話すことはできません。困っているから教えてほしいとは言えません。新津第一中学校には、仲間の悩みも自分のことのように一緒に考えよう、この仲間と共に成長していこうという風土が確かにありました。そしてこのような学びによって、さらに風土は醸成されていくと思います。

上記の学級では授業後、どの生徒の表情も明るく、きりりとしていました。傾聴し、共感し、受容し合える仲間との対話を通して、どの生徒も自己内対話を深めることができたからだと思います。仲間が自分を見つめる鏡になってくれたのだと思います。支持的風土の中で、個はさらに成長していくのだということを改めて実感した一場面でした。

次号は、「子ども同士の「支援」」です